

令和3年度 さいたま市立大久保小学校 学校関係者評価書

さいたま市立大久保小学校

学校関係者評価委員長 田中 智康



1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

9名

(2) 実施回数

3回

- ・令和3年 6月25日(金) 令和3年度大久保小学校の教育説明
令和3年度いじめ防止基本方針説明
令和3年度の取り組み、行事説明
- ・令和3年11月15日(月) 令和3年度の取り組み、行事中間報告
- ・令和4年2月 15日(火) 学校評価アンケート、学校自己評価の報告
(紙面での開催) 令和3年度の取り組み、行事報告

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- ・子どもたちがタブレット端末の操作に慣れている。学校だけではなく、家庭にタブレット端末を持ち帰って自主学習に活用している様子も見られる。
- ・学校での子どもたちの活動について、保護者が来校しての参観等は難しい状況だが、発表会や行事の様子を動画で公開するなど、活動のようすを伝えようとしている。しかし普段の子どもたちの活動について、見えない部分も多い。
- ・各教室の消毒液の設置や教育活動の工夫、先生方の共用部分の消毒作業などで学校・学級閉鎖などにならないよう感染症の拡大を防いでいる。同居家族に症状が見られる場合に予防的に欠席させるなど、保護者の理解と協力が得られている。
- ・学校評価アンケートで学校生活・学習が楽しいと感じている児童が多い。行事や活動について、制限のある中ではあるが、継続して工夫した教育活動を行って欲しい
- ・学校行事、地域の行事などなかなか行えない状況であったが、学校と地域の繋がりが強くなるとよい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- タブレット端末は、低学年から使用の機会を持ち、3年生以上ではすぐに手の届くところに端末を置き、毎日のように使用している。また、3学期からは、児童の希望でタブレット端末を持ち帰れるようにした。来年度は、学習ソフトが追加される予定なので家庭での活用をさらに進めていく。
- 校内での消毒や毎日の健康観察を継続して行い、児童にとって安心・安全な学校づくりに努めていく。
- 令和4年度行事計画について、国や市の指針に従うことが基本となるが、従来の形にできるところは戻していき、放送で行う場合も生放送の回数を増やし、行事の意義が児童に伝わりやすいように工夫していく。
- 個に応じた指導の継続をしていく。高学年では教科担任制について実証を重ね、より専門的で児童が楽しいと思える学習を進めていく。
- ホームページ、学年だより等で児童の情報を発信していく。